

「(仮称) 子ども憲章」素案の策定及び市民意見の募集について

北九州市では、こどもや子育て中の方、その周囲の方が、それぞれの違いを受け入れる包摂性と寛容性を持つとともに、地域社会全体でこどもに関わり、育てるという気運を高めるため、「(仮称) 子ども憲章」の策定を目指している。

策定にあたっては、今年3月、外部有識者で構成する「(仮称) 子ども憲章検討懇話会」を設置するとともに、「みらい政策委員会」となった小・中学校のこどもたちとも意見を交わすなど、異なる世代・立場の方々から、幅広く意見を聞きながら取り組んできた。

また、7月には、同懇話会の有志による「子ども憲章制定起草委員会」から提言が出されるなど、「(仮称) 子ども憲章」の内容について議論が深まってきたことから、これらを踏まえた素案を取りまとめるとともに、市民意見を募集するもの。

1 これまでの取組について

- (1) 「(仮称) 子ども憲章検討懇話会」での議論 . . . 別紙1
- (2) 「みらい政策委員会」との意見交換 . . . 別紙2
- (3) 「みんなでつくる子ども憲章会議」の開催 . . . 別紙3

2 「(仮称) 子ども憲章」素案について . . . 別紙4

【素案の概要】

<タイトル> 北九州市こどもまんなか「にこにこスイッチ！」

<構成> 前文と本文（5つのアクション）の二部構成

<盛り込む言葉>

- ・子育て中の方やその周囲の方など、大人同士が広く共有でき、こどもにも伝わるやさしい言葉
- ・聞いた人が自分もやってみようと、具体的な行動に繋がるような言葉

3 市民意見の募集について

- (1) 募集期間：令和6年9月1日（日）～9月30日（月）
- (2) 提出方法：任意の様式（電子メール、FAX、郵便など）

4 今後のスケジュールについて（予定）

- 令和6年9月 「みらい政策委員会」等から意見聴取
- // 10月上旬 市民意見とりまとめ、素案への反映を検討
- // 10月24日 常任委員会で市民意見募集結果、最終案を報告
- // 11月頃 「(仮称) 子ども憲章」策定

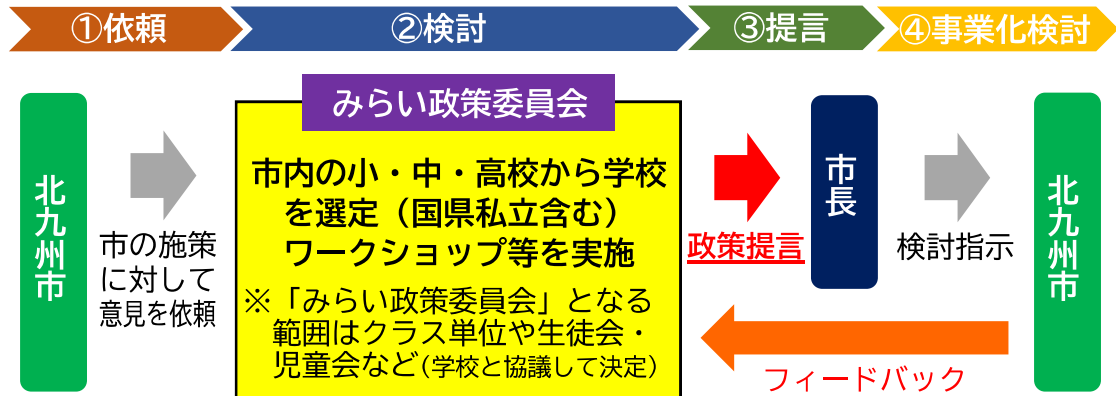
「(仮称) 子ども憲章検討懇話会」について

- 1 設置日 令和6年3月12日
- 2 位置付け 市政運営上の会合
- 3 構成員 学識者・企業・教育・PTA・地域・障害福祉・若者の各分野から12名を選任
- 4 会議経過

時期	内容・主な意見
第1回 (3月12日)	<p>◆「(仮称)子ども憲章」の方向性について</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の方やその周囲の方など、大人同士で共有でき、広く共感できるものとする ・こどもにも伝わるような分かりやすい言葉を使う ・前文、本文の二部構成を基本とし、キャッチコピーなど広く浸透させるための工夫をする
第2回 (5月31日)	<p>◆「(仮称) 子ども憲章」に盛り込む言葉について</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まち」や「市」を主語にすると当事者意識を持ちづらい。自分事として捉えることができる表現がいい ・人の心に入ってくるよう、話しかけるような言葉がいい ・聞いた人が「自分も何かしよう」とプラスに前に進める言葉がいい
第3回 (6月28日)	<p>◆「(仮称) 子ども憲章」に盛り込む言葉について</p> <p>◆ 周知方法について</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動が伴うようなものを想定できる言葉になっている ・一人一人が自分で起こせるアクションに繋がればいい ・若い人の目に留まるように、4コマ漫画を作って SNS で発信すればいいのではないか ・商業施設や町内会にポスター掲示をしてはどうか ・保護者等に配布できるよう、小さな冊子を作ってはどうか

「みらい政策委員会」について

1 概要 市の施策に子どもたちの意見を反映し、提案を事業化する仕組み



2 実施する学校

校種	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑
小学校	大里東	南丘	守恒	ひびきの	高槻	萩原	あやめが丘
中学校	東郷	南小倉	守恒	高須	大蔵	香月	飛幡
高校	-	-	Ⓜ小倉商業	Ⓜ若松	-	-	市立
特別支援学校	門司総合	-	-	-	-	-	-

3 実施案件

形式	案件	内容
ワークショップ	(仮称)子ども憲章 こどもまんなか社会に必要なこと	・「(仮称)子ども憲章」に盛り込む言葉 ・子どもたちが笑顔で暮らせる社会づくりに必要なこと
	思いっきり公園	・子どもたちが思いっきり遊べる公園づくり
	戸畑区役所の活用	・新たなくつろぎ空間としての戸畑区役所の活用
	(仮称)こどもまんなかイベント	・11月に実施予定の「こども向けイベント」の内容
アンケート	こどもプランの改定	・プランの内容

※学校毎に案件を選定して実施

4 みらい政策委員会からの意見（「(仮称)子ども憲章」について）

（テーマ） こどもや子育て中の方に優しくなれる「まほうのことば」を考えよう
 （方法） 学校へ講師（教員OB）を派遣し、ワークショップを実施
 ※例えば「公共の場で泣いている赤ちゃん連れの方に対して、どのような言葉をかければ安心してもらえるか」など、場面を想定して言葉を思案

【実施結果】

みらい政策委員会	実施日	主な意見（言葉）
南丘小学校 6年1組 (34名)	6月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・「大丈夫だよ」 ・「気にしなくていいですよ」 ・「つらい時もあるけど、こどもを産んで良かったと思えますよ」
守恒中学校 生徒会 (9名)	6月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・「気にしなくて大丈夫ですよ」 ・「子育ていろいろ大変ですが、がんばってください」 ・「静かに「にこにこ」見守ろう」 ・「知らない子が騒ぐとうるさく感じるの、もっと地域で交流しよう」
高須中学校 1年4組 (33名)	6月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなこどもの頃は泣いていたので大丈夫ですよ」 ・「赤ちゃんは泣くものですよ」 ・「心配しないで、あなたの味方もたくさんいますよ」 ・「こどもの成長をやさしく見守ろう」
大蔵中学校 3年1組 (38名)	7月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・「赤ちゃんが泣くのは仕事ですから大丈夫ですよ」 ・「こどもってそんなもの、誰も悪くないですよ」 ・「みんな小さい時は騒いでいた、でもそばで見守ってくれる人がいた、今度は僕たちの番じゃない？」

「みんなでつくる子ども憲章会議」について

- 1 目的 「(仮称)子ども憲章」について、こどもや若者、子育て当事者の方などから、幅広く意見を聞くために開催
※開催にあたっては、こども家庭庁の「こどもまんなかアクションリレーシンポジウム」として実施
- 2 開催日 令和6年8月1日(木) 13時30分～14時30分
- 3 場所 北九州市立 子ども図書館
- 4 参加者 【主催】北九州市長 武内 和久
【協力】こども政策担当大臣 加藤 鮎子(ビデオメッセージ)
こども家庭庁長官官房地方連携推進室長 吉村 顕
【一般】小・中・高・大学生や保護者など、約90名

5 次第

No.	時間	内容
1	13:30～13:32	オープニング動画放映
2	13:32～13:35	主催者挨拶
3	13:35～13:40	大臣ビデオメッセージ
4	13:40～13:50	こども家庭庁基調講演
5	13:50～14:25	トークセッション
6	14:25～14:30	記念撮影

6 参加者(小・中学生)からの主な意見

- 「にこにこスイッチ」という言葉は温かい気持ちになる。ぼくもみんなを「にこにこ」させるような警察官になりたい。
- 「ありがとう」をいっぱい聞くとうれしい。私もみんなに「ありがとう」と言いたい。
- 大人がこどもと同じ目線で話していたら、こどもも自分の気持ちを分かってくれていると感じるので、「同じ目線で」という言葉はいいなと思った。
- 大人がこどもに、「悪いことはだめ」ときちんと教える必要があるが、愛情をもって教えることが大切だと思う。
- 自分も北九州市を「にこにこ」にしていきたい。

「こどもまんなかアキシヨーン」
リレーシンポジウム in 北九州
みんなでつくる子ども憲章会議

令和6年8月1日 北九州市立子ども図書館

こども
まんなか

北九州市

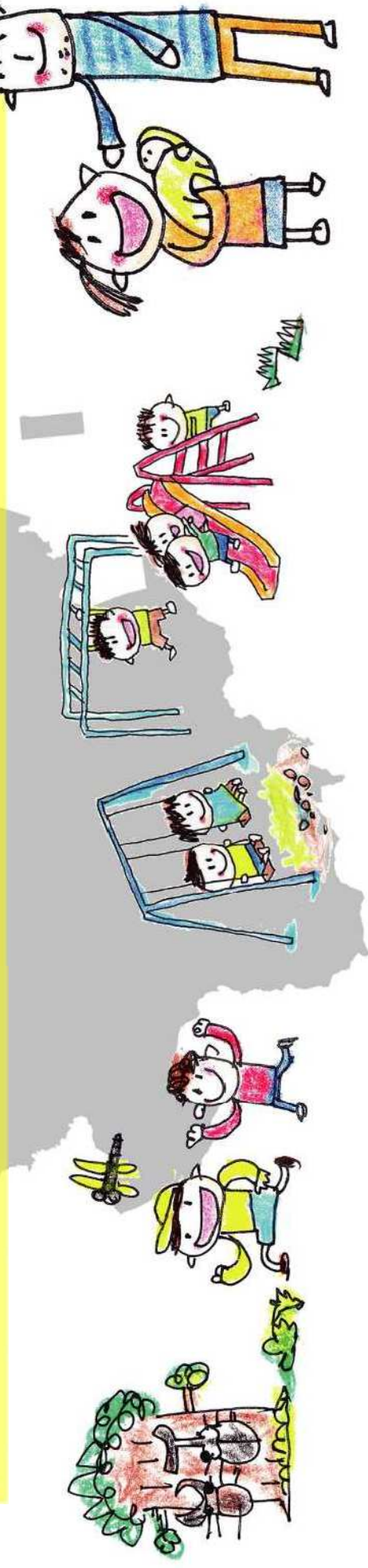
こどもまんなか

こども家庭庁

今、北九州市が考えていること

まずは、

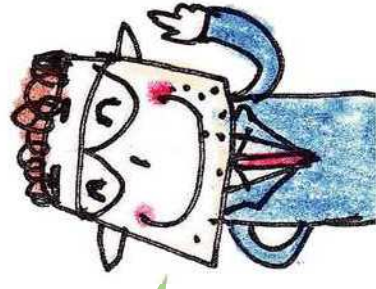
こどもやこどもを育てる人
にやさしい社会をつくりたい！



そのために、子ども憲章をつくろう



子ども憲章ってなに？



こどもや子育てにやさしい社会をつくるための皆の「合言葉」だよ

これまで、どんなことを考えたか①

まず、自分がこどもだった頃を
ふりかえってみた。

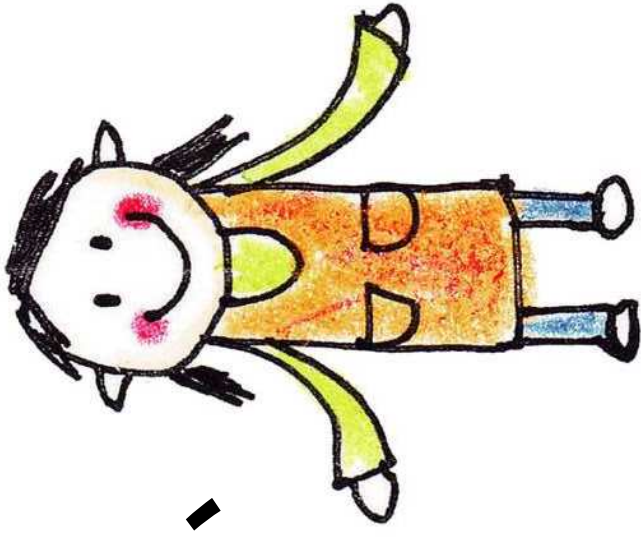
いろいろなことを教えてくれる
大人がいた。
いつも声をかけてくれる大人や、
ときには叱ってくれる大人もいた。



これまで、どんなことを考えたか②

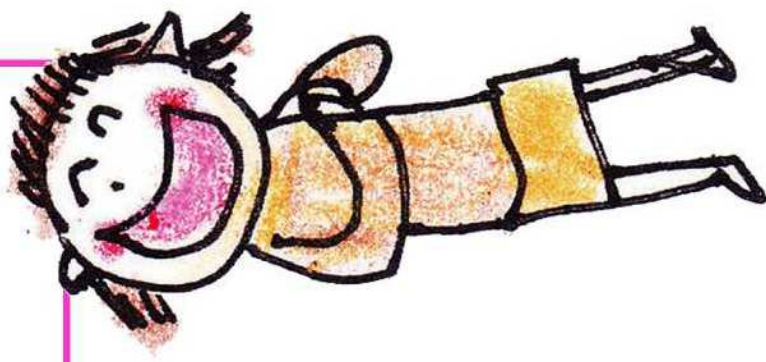
今、自分が大人になって、
子どもたちに行えることはなんだろう。

大きなことはできないけれど、
やさしく見守ることなら
できるかも。



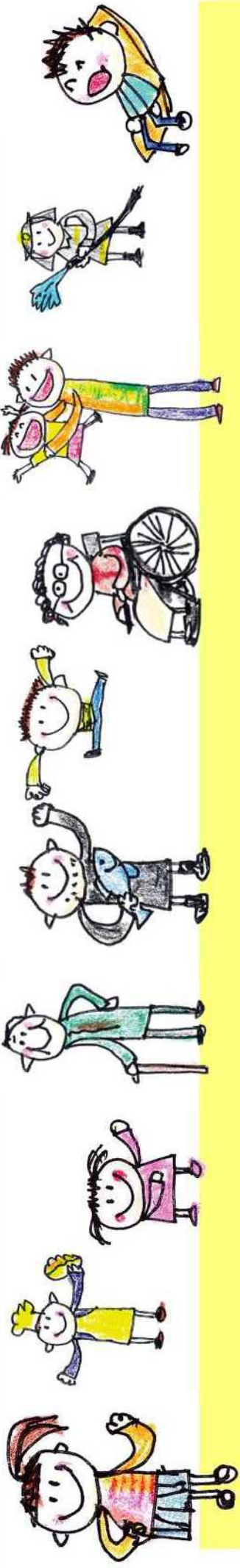
これまで、どんなことを考えたか③

こどもの周りに、あたたかい笑顔があふれているまちはいいね。

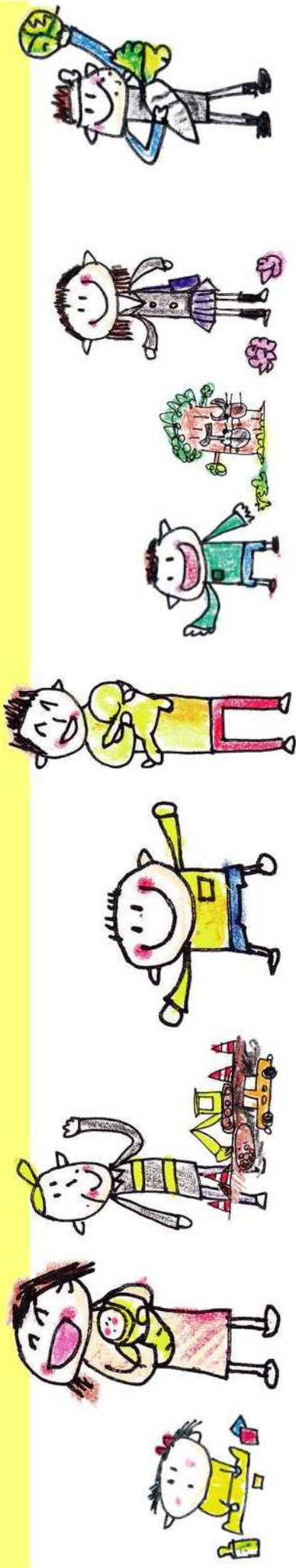


まずは、小さなスイッチを入れるところから始めてみてはどうだろうか？

「(仮称)子ども憲章」に盛り込む言葉

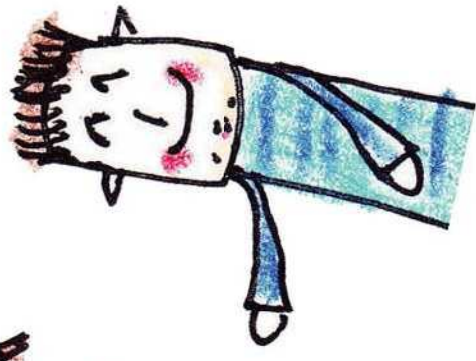
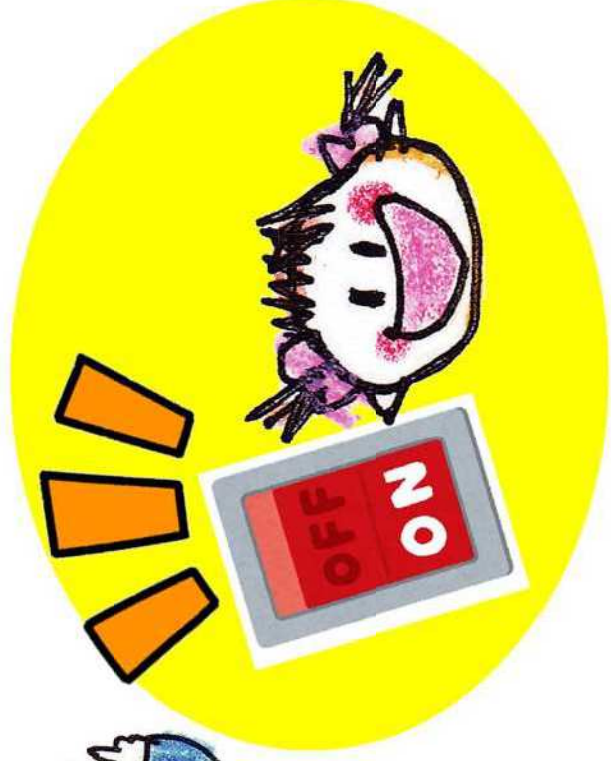
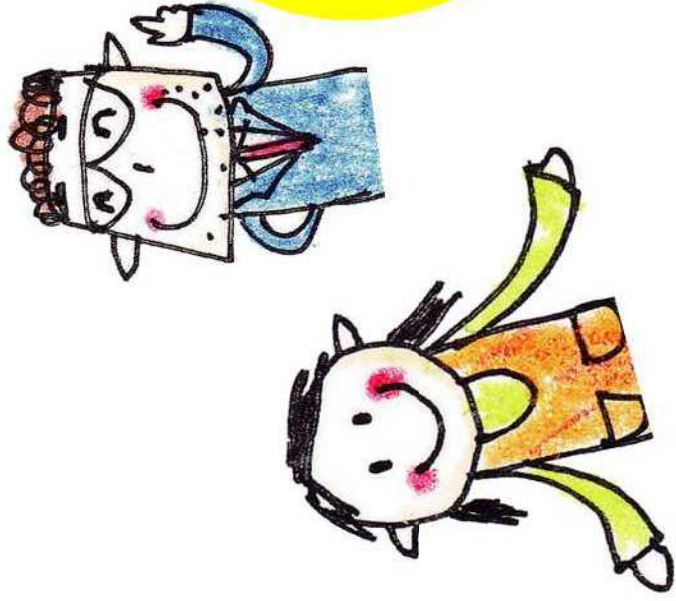


みんなのできる「5つのアクション」



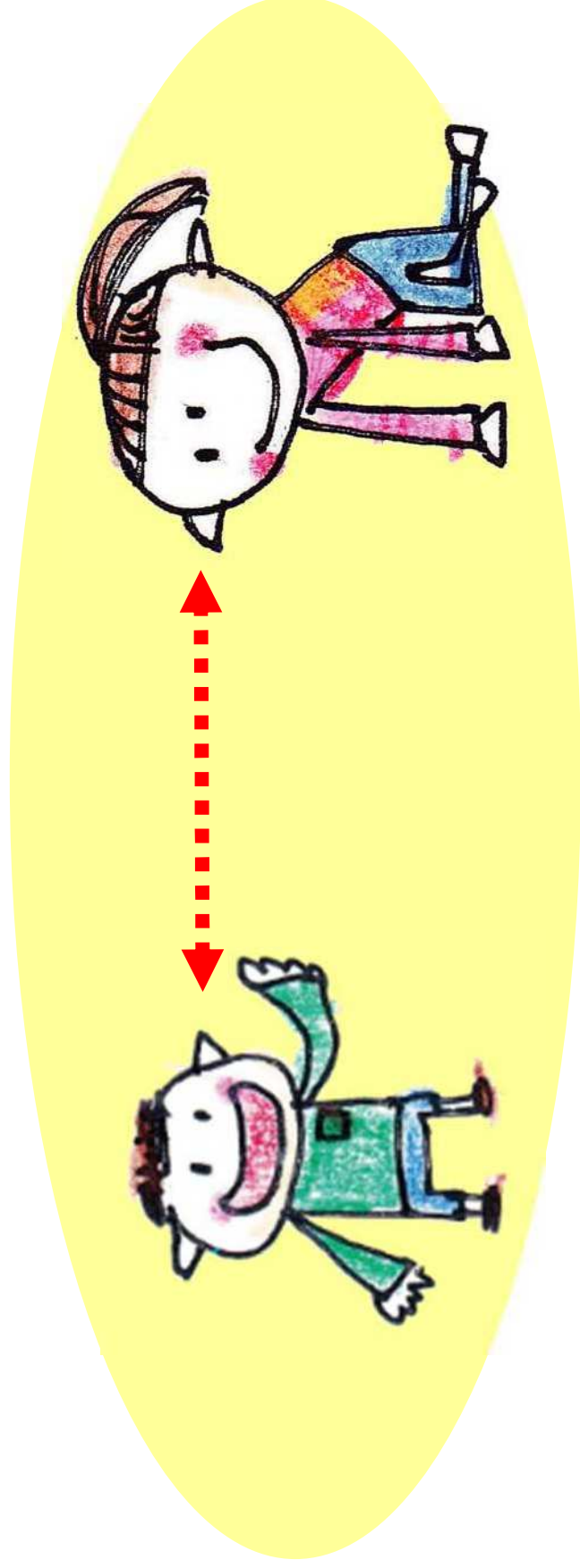
アクション①

こどもがいたら、みんなで
「にこにこスイッチ」オン!



アクション②

こどもとは、大人が
ひざをかかめて「同じ目線」で



アクション③

こどもを諭(さと)すときには、
「愛情いちばん」



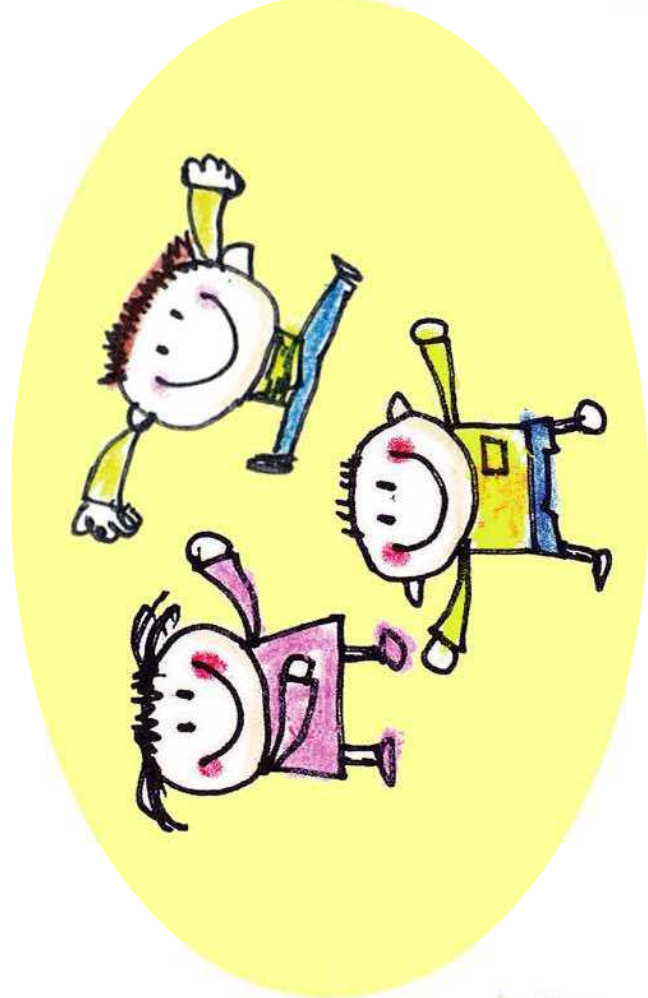
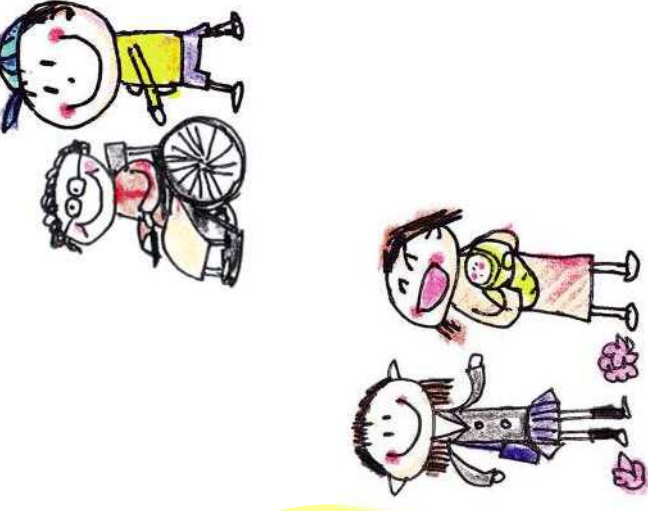
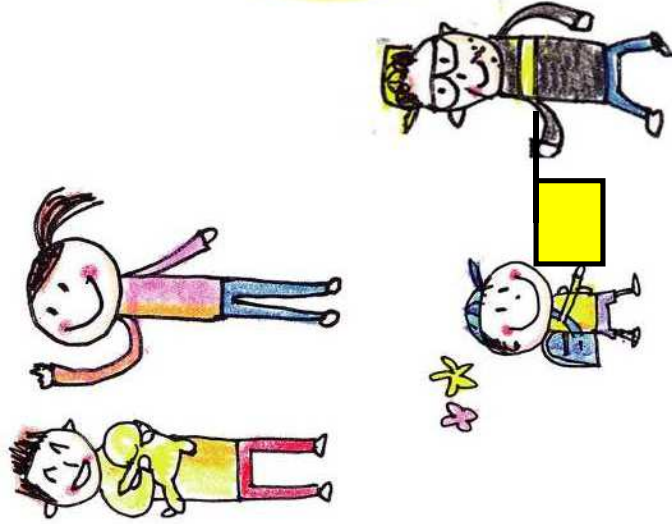
アウシヨシ④

子育ては時に大変なことも。
やさしく伝える「大丈夫」



アクション⑤

こどもの周りには、
いつもたくさんの「ありがとう」

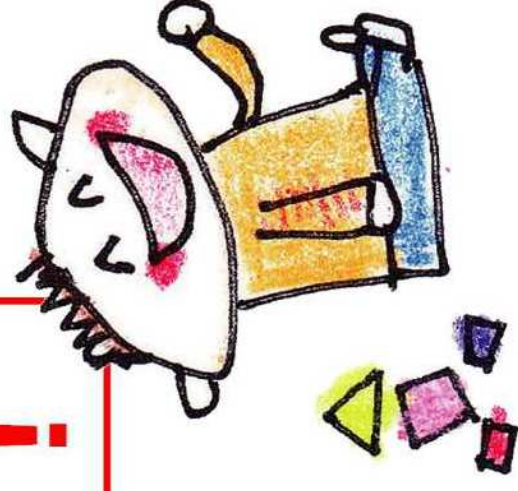


子ども憲章のタイトル

みんなに親しんでももらえるよう、

北九州市こどもまんなか
「にこにこスイッチ」!

とつけてみました。



北九州市こどもまんなか 「にこにこスイッチ！」

自分がこどもだった頃、大人ってどんなふうに見えていただろう。
いろいろなことを教えてくれる大人がいた。
いつも声をかけてくれる大人や、ときには、叱ってくれる大人もいた。

今、自分が大人になって、こどもたちにできることはなんだろう。
大きなことはできないけれど、やさしく見守ることならできるかも。
自分がこどもだった頃、近くにいてくれた、やさしい笑顔の大人のように。

まずはこどもの周りに、あたたかい笑顔があふれていることが、
だれもが始められるスタートライン。

このアクションが、みんなに広がって、
こどもが地域の「まんなか」になるように。
こどもの周りに、笑顔が絶えない北九州市になるように。

まずは、小さなスイッチをいれるところから始めてみませんか？

<アクション>

- 1 こどもがいたら、みんなで「**にこにこスイッチ**」オン！
- 2 こどもとは、大人がひざをかがめて「**同じ目線**」で
- 3 こどもを諭（さと）すときには「**愛情いちばん**」
- 4 子育ては時に大変なことも。やさしく伝える「**大丈夫**」
- 5 こどもの周りには、いつもたくさんの「**ありがとう**」